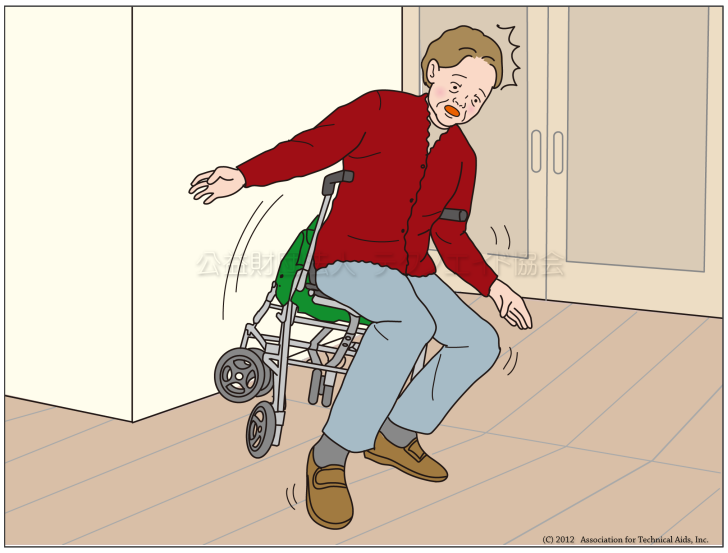
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：232

不安定な場所で腰掛けたことで本体ごと傾き、転倒しそうになる

場面の説明

傾斜がある場所に歩行車と停めていすに座ろうとしたため、バランスを崩して転倒しそうになった



利用シーン	立ち座り 移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

傾斜のある場所ではいかにブレーキを確実に操作しても転倒の危険が大きくなります。安全に利用するためには、その場に応じて危険を認識し、適切な判断ができる認知機能も重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：路面状況をよく確認せずに歩行車を停めた
人：ブレーキをかけ忘れていた
環境：傾斜のある場所だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：232

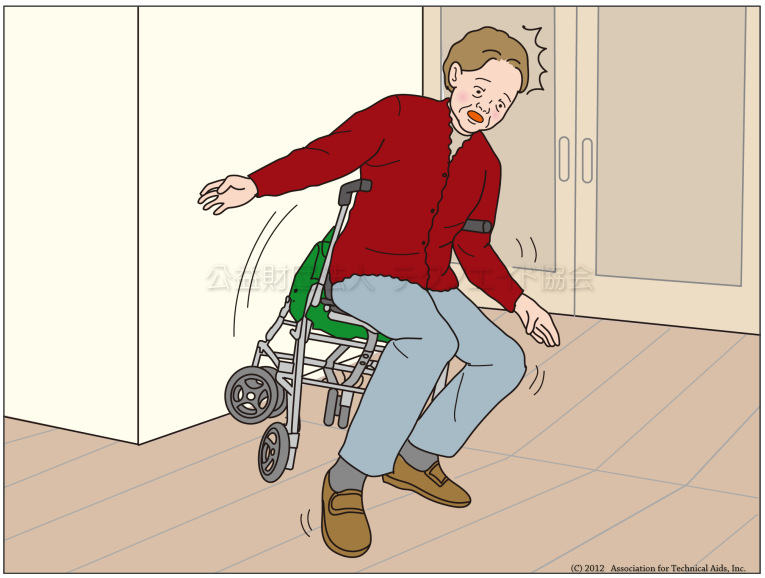
不安定な場所で腰掛けたことで本体ごと傾き、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

傾斜がある場所に歩行車と停めていすに座ろうとしたため、バランスを崩して転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.